

# 奥秩父笛吹川久渡沢ナメラ沢報告

(日時) 2016年6月30日夜～7月03日

(メンバー) 単独

(行程)

7月01日 新宿(7:00発)―山梨市駅(8:45～9:12)―道の駅みとみ(10:10～10:20)―沓切沢橋(林道終点)(11:30～12:00)―入渓点(12:30)―5m滝(13:30)―1575m地点付近(15:30)

天気は、曇りのち晴れ



沓切橋から5分ほど行ったところにナメラ沢へ下る案内がある。

5分ほどで、沢に降り、沢を10分ほど下るとナメラ沢。ゴーローをしばらく行くと、ナメ滝が2つ越すと2段5m滝。



2段5m滝

2段5mの滝を攀じると、ゴーローとなり、中ノ沢出合。ここから、ナメ滝が3つほど続く。





2段20mのナメ滝



ナメ滝

沢の中間点を過ぎた1575m付近で、ツエルトを張り、今日の行動終了。





2条10mのナメ滝

7月02日 1575m地点付近(6:00)―二俣―左俣遡行終了点(7:00)―稜線(東破風山)(10:00)―道の駅みとみ(14:50～15:11)―山梨市駅(16:08～16:53)―新宿(18:34)―東京(19:36)―新潟(21:41)

天気は、曇り

早々に、ツエルトを撤収し、ナメ滝歩きでスタート。しばらく行くと岩がゴロゴロと出はじめ巨岩、倒木などがあり、歩きにくい。やっとの思いで、源流部についた。そこから、そのまま詰め、必死の登り、稜線で東破風山、雁坂峠、をへて道の駅みとみに降り立った。

(総評)

梅雨の合間を、狙って笛吹川のナメラ沢に行ったが、わりに天気に恵まれたと思う。

沢自体は、ナメ滝の連続で、登攀具も出さず、登ることができた。

ナメラ沢は、易しい沢で、沢登り初心者や初級者にオススメの沢である。